

—あなたの一步を応援します—

ながさきに新たな風を吹かせる挑戦びと、  
“トライ人”を紹介するコーナー。  
若者からベテラン、  
輝くみなさんの挑戦ストーリーとは!?

# 発見! トライ人

『子どもたちのために楽しい畑をつくる』挑戦

福田つんなむファーム  
ただすけ  
黒田 唯介さん

## トライ年表

- |                                        |                                      |
|----------------------------------------|--------------------------------------|
| 2020年4月<br>・畑の整備を始める                   | 2022年11月<br>・芋ほり体験開催                 |
| 2022年4月<br>・福田つんなむファームを<br>結成して、野菜を植える | 2023年4月<br>・野菜収穫体験開催                 |
| 2022年10月<br>↓初収穫!                      | 2023年5月<br>・収穫祭を初開催。子ども<br>たち約40人が参加 |



## あなたの気になるトライ人募集!

市内で新たな一步を踏み出す人、または挑戦を支える「トライ人」を募集しています。自薦・他薦は問いません。市ホームページか  
はがきでご応募ください。



## 原動力は子どもたちの笑顔

合わせて400坪以上ある4つの畑「福田つんなむファーム」ではたくさん野菜が育てられています。実はこの畑、交流の場なんです。

3年前、放置された農地の管理を任された黒田さん。「地域や子どもたちのために何かしたい」と考えていたことから、子どもたちの居場所になるような畑を作ることと決意。有志の皆さん力を借り、2年ほどかけて畑として使えるように準備をしたそう。他の畑と違う点は、子どもたちが遊べるように何も植えていないスペースを残しているところ。

幼稚園やこども園と連携し、畑ではこれまでたくさん子どもたちが、芋やさやえんどう、玉ねぎなどの収穫体験をしました。5月にはレタス、そら豆、カブなどの野菜を収穫して、さつまいもの苗を植える「収穫祭」を開催。大学生も10人ほど参加し、子どもたちと一緒に収穫を楽しんでいました。

採れた野菜は、月に1回開催される福田こども食堂にも提供しています。畑があることで、採れたての新鮮な野菜を届けられます。野菜は子どもたちの健康のために、無農薬で栽培しているそう。

黒田さんは、いつか長崎の伝統野菜を子どもたちに見せたい食べさせたいと、長崎大学の講座で育て方などを受講中。

また、採れたての野菜をその場で簡単に調理して食べられるような設備を畑に作って、子どもたちに振る舞うのが夢だと話していました。



## 喜んで来てくれる子どもたち

子どもたちに楽しんでほしくて活動を続ける黒田さんは、毎日の農作業も全く苦ではないそう。小学生の送り迎えや朝のあいさつ運動をするなど、いつも温かく子どもたちを見守っています。



「挑戦」に  
不可欠な  
ものは?

# ながさき 井戸端 パーティー IDOBATA PARTY

長崎市に住む人、働く人、学ぶ人が互いに“顔見知り”になることを目的とした「井戸端パーティー」。  
ホームページでさまざまな交流の場を紹介しています。

中央地域センター ☎829-1418

Q 井戸端パーティー

ホームページ



Instagram



Facebook



## 仲間と一緒に、茂木を元気あるまちに

記事全文は上記  
ホームページで。

井戸端パーティーを活用  
しているかたをご紹介します！

茂木若人の会 会長  
茂木郵便局長

池山賢太郎さん



今回の井戸端peopleは、茂木郵便局長であり「茂木若人の会」を立ち上げた池山さん。地域コミュニティ連絡協議会や連合自治会と連携して、茂木を愛するメンバーたちと次々にイベントを企画しています。

昨年は、15年ぶりの花火大会「みんなでつくる!! 第1回茂木花火大会」を開催。みんなで力を合わせれば絶対に行けるとの思いで、地域総出で半年かけて準備したのだそう。当日は約2,500人が訪れ、大成功を収めました。

他にも、茂木地区ふれあいまつりや地域の清掃活動など、さまざまな場面でまちを盛り上げる茂木若人の会。「茂木に関わる人が増え、進学や就職で離れた人が帰ってきたくなるようなまちにしたい」と熱く語ります。

現在は、大好評だった花火大会を今年も開催するために準備中。8月26日(土)に開催予定ですので、皆さんお楽しみに！

## わがまち 自慢 調査し隊

きれいに盛り付けた  
そうめんかと思ったら  
想像と違った!



お題

地蔵まつり飾りそうめん

### 江戸時代から継承される技法で 繊細に編まれたそうめんがすごい!

飯香浦町と太田尾町では、毎年7月23日・24日にお地蔵さまへ飾りそうめんをお供えしているよ。これは市指定無形民俗文化財に指定されているんだって。

そうめんの形は2つの地域で異なって、飯香浦では鍔兜よろいかぶとと幔幕まんまく、太田尾では人形。生のそうめんが乾燥しないように外気を遮断した部屋で、約3時間の間に素早く編み上げているそう。この複雑な編み上げの技法は口伝で継承されていて、覚えるのに数年かかるらしい。継承のために最近子どもたちも参加しているんだって。

みんなも地蔵まつりに行ってみてね。

#### まちの自慢を募集!

「広報ながさき」で紹介して欲しい、まちの自慢を募集しています。自薦・他薦は問いません。はがきか市ホームページでご応募ください。

